

第1号様式（第5条関係）

戸田市市民活動サポート補助金応募用紙（2っこり・10じつ）

（宛先）
戸田市長

30年 4 月 20 日

団体名 エンジェル・すまいる
 代表者氏名 清水真由美
 代表者住所 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
 代表者連絡先 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

コース	2 (は) っこりコース	10 (じゅう) じつコース
事業名	2018 キラキラ輝く Toda ママフェスタ	
補助年数	1年目	2年目 3年目
実施期間	30年 5月 1日 ~	31年 2月 15日
事業総額	317,500 円	
補助対象経費	271,060 円	
補助金申請額	120,000 円	
確定前交付の希望	希望する	希望しない
申請中又は交付予定の補助制度	名称	
	実施主体	
連絡担当者	氏名	清水真由美
	住所	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
	電話	XXXXXXXXXXXX
	Fax	
	Email	XXXXXXXXXXXX

《団体の概要》

団体名	エンジェル・すまいる
ホームページ	http://ameblo.jp/angel-smile-toda/
設立年月日	2013年 9月 1日 設立
会員数	5人
年会費	3,000円／1年間
団体の目的	この会は子育て中のお母さんをはじめとする女性が、資格や特技などスキルを活かして自立できるよう応援して、いきいきと子育て出来る環境を作ることを目標とする。
主な活動実績	<p>2015年</p> <p>11月 「キラキラ輝く Toda ママフェスタ」を戸田市文化会館にて開催。960名来場</p> <p>2016年</p> <p>10月 同イベント（文化会館） 500名来場</p> <p>11月 同イベント（川岸倉庫） 100名来場</p> <p>2017年</p> <p>6月 同イベント（上戸田地域交流センターあいパル）500名来場</p> <p>12月 同イベント（上戸田地域交流センターあいパル）2600名来場</p> <p>他に、「価格設定の勉強会」、「ディスプレイ講座」（2017年4月）などスキルアップできるような講座を開催</p>
昨年度の補助金等の援助状況	昨年度は受けていません
団体PRなど	<p>「ママが元気にいきいきと笑顔でいれば、こどもも家族もうれしい！そんな家族が増えれば、戸田の街がキラキラと輝いて、もっと元気になる！」</p> <p>この言葉を信じてがんばっています。</p> <p>「キラキラ輝く Toda ママフェスタ」を開催してから3年。</p> <p>「はじめて参加したイベントが Toda ママフェスタです！」というママたちが、自分のやり方で歩き始めています。</p> <p>また、運営に携わって勉強したいと、スタッフになる方もいます。</p> <p>もっともっと、広げていきたいと思っています。</p>

《事業計画書》

1 事業名

2018 キラキラ輝く Toda ママフェスタ

2 事業を実施する背景・きっかけ・動機

もともと持っていた資格や好きで始めた特技を活かしたくても、活動する場所さがしや集客の難しさから、あきらめるママが多い。自分自身もそのひとりである。

そこで「スキルや特技を活かした活動を地域に知ってもらい、同じ志を持つ仲間を作り、社会とつながる場所を作ろう！」という想いで2015年に戸田市で初めてのママフェス「キラキラ輝く Toda ママフェスタ」を開催した。

3年間やった結果「勇気をだしてイベントに出てみたものの、準備が足りなくて大変だった」「イベント前にもっと勉強したかった」というイベント前の準備づくりの必要性という課題があがってきた。

それならば、準備づくりの講座を開き、一緒に悩みを解決して不安を取り除くサポートから「Toda ママフェスタ」で実践、反省会までを行うことで、「やってみよう！」という人を多く育成できるのではないかと考えた。

しかし、講座を受けてほしいと思う反面、ママたちにあまり経済的不安をかけたくはないので、今回補助事業に応募をした。

3 事業の目的

子育て中や一度仕事を辞めた女性たちが、空いた時間を使って、自分のスキルや特技を活かし活動することで、地域で自分らしく活動したり、起業をして働くなどのきっかけづくり。また、地域に貢献できる人材の発掘と活動しやすい環境づくりを目指す。

子育て真っ最中のママが欲しいものは「自分らしくいられる時間」である。好きなことに没頭したり、仲間といっしょに居られる時間。

「Toda ママフェスタ」に出展者や来場者として参加することで、ほんの少しの時間でもリフレッシュできて、「明日からもがんばろう！」とキラキラとした笑顔になれる。

4 事業を実施することで予想される効果

- ・ この事業では、イベントに当日参加して終わり！！ではなく、事前の交流会や準備にも出展者さんにも参加してもらうことで、出展者同士のつながりを作る。
- ・ 「はじめて出展ブース」で、出展料やスペースを考慮したり、勉強会を開催して、はじめての方もチャレンジしやすくなる。
- ・ 「親子で出展ブース」では、ふだん見ることができないイキイキと働く親の姿や、子どもが一生懸命手伝ってくれる様子を見ることで、新たな一面が見え親子のコミュニケーションが増える。
- ・ 来場者は出展者の笑顔いっぱいの対応で、うれしくなるし、自分もなにかやってみたい！と思う。
- ・ そんな「楽しい」イベントをやる戸田の街を、みんなが大好きになる。

5 具体的内容

《育成》

- ・ 「一步を踏み出したい人」交流会
- ・ ランチ交流会
- ・ ディスプレイ講座、価格設定講座、接客マナー講座、カメラ講座、SNS講座
- ・

《実践》

「2018 キラキラ輝く Toda ママフェスタ」

会場：上戸田地域交流センターあいパル

日時：2018年12月1日（土）

- ・ ハンドメイド作品の販売や、ワークショップ（体験会）
- ・ 癒しコーナー（占い、トリートメントケア等）
- ・ 飲食コーナー
- ・ 託児コーナー
- ・ 市内小中学校吹奏楽演奏
- ・ 未来の作家さん発掘（中学生の作品展示）
- ・ ウィンドウアート

《反省》

- ・ 出展者反省会
- ・ Toda ママフェスタ向上委員会

6 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
5～6月	一步を踏み出したい人、交流会。イベント告知
7～8月	Toda ママフェスタ出展者募集、説明会
9月	出展者ランチ交流会、講座開催、チラシ完成
10月	講座開催
11月	準備
12月1日	「2018 キラキラ輝く Toda ママフェスタ」 当日
2019年1月	出展者反省会

7 事業の実施体制

Toda ママフェスタ実行委員会を立ち上げる。
託児は市民活動団体「はたちの会」に依頼
講座の講師は、今まで Toda ママフェスタ運営において関わった地域の方など、これまでのつながりを活かし講座の内容にあった方をお願いする。

8 事業実施の際に予想される課題

運営スタッフが足りないので、ボランティアを募るか、バイトを使うなどを検討。

9 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

来場者3000人超。

今までにママフェスタなどのイベントに出たことはないが、準備づくりの講座があるならやってみよう！というチャレンジャーが5名以上。

10 補助終了後に当該補助金に頼らずに事業を継続していく方法

この事業以外にも、さまざまなセミナーや講座を正当な価格で開催して、講師も受講する人も満足できる環境を作っていく。

エンジェル・すまいるの活動を応援してくれるスポンサーを探す。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	市民活動サポート	120,000	
	その他		
自己資金			
会費			
利用者負担金		147,500	出展料 3,500×35組 講座受講料 1,000×5人×5回
協賛金・寄附		50,000	
その他			
合 計		317,500	

【支出】

科 目		予 算 額	内 訳	
補 助 対 象 経 費	謝礼金	90,000	講師謝礼 10,000×5人、託児 6,000×5人、 協力者謝礼	
	交通費	4,000	駐車場代 (準備、運営荷物搬入)	
	消耗品費	5,000	文具等	
	食糧費	20,000	吹奏楽部へのお茶	
	通信運搬費	12,000	楽器運搬 3000×4台	
	原材料費	20,000	会場装飾、ウィンドウアート	
	印刷製本費	20,000	チラシ、当日配布パンフレット	
	保険料	5,060		
	使用料	70,000	会場使用料、ベンチレンタル料	
	委託費	25,000	チラシデザイン委託	
小 計		271,060	内 訳	補助金申請額：120,000 自主財源： 151,060
補 助 対 象 外 経 費	会議費	3,000	打合せ会議費	
	活動費	43,440	実行委員	
小 計		46,440		
合 計		317,500		